

日本共産党

芋川 ゆうき

いもかわ ゆうき



目黒区議会議員



公式サイト

1982年群馬県藤岡市生まれ。ソフトバンクグループ、メットライフ生命保険業界を経て独立。2019年 目黒区議会議員。1期。家族:妻、二女。趣味:音楽、映像制作。

日本共産党 区議会議員 芋川ゆうき

なんでも相談 400件

(※) 4年6ヶ月累計のべ人数

目の前のあなたの力になりたい!!

欠かさず続ける 区民相談

議員になる前から、区民のみなさんの身近な相談相手になりたいと手伝い始め、欠かさず続けているのが、毎週火曜日夜のなんでも相談会です。

毎週、遅くまで相談の方がやってきます。「困った時は、日本共産党」です。お気軽にどうぞ。



突然、今の借家を数ヶ月で出て行って欲しいという通知がきました。ここにサインをしてくれと言われ、持病もあり、わからずサインをしてしまいました。後から不安になり、芋川区議に相談。弁護士と一緒に対応をしてくれ、どうにか無事に新しい住居やしっかりとした補償を得ることができました。(洗足1丁目、F)

生活相談が私の議会活動の原動力

相談内容は、区民の生活の縮図です。コロナ失業、生活困窮、高い家賃、使えない介護保険、特養ホームに入れない、区民税や保険料の減免、生活保護申請、企業での若者の使い捨ての相談など。相談に寄せられたみなさんの声や実情を元に、区議会でも区長に迫り、区政の革新に取り組んでいます。

コロナで仕事が激減、税金も滞納を余儀なくされ、差押さえ通知がきて途方にくれていました。そんな時にホームページで芋川区議のことを知り、相談しました。今では平穏な生活に戻りました。(碑文谷1丁目、T)

青木区長と統一協会 闇は許さない!

青木英二区長は、目黒家庭協会(旧統一協会)の行事に出席したことを、区議会答弁で明らかにしました。「私的な立場で出席した」、区内にあるセネガル大使館を例に出して「目黒に貢献を資するのであれば、敬意を述べる」と言い放ちました。一方で、靈感商法や統一協会に被害にあった区民の方々から、目黒区消費生活センターに相談が入っています。統一協会にかかわり、被害が拡大しているのに、謝罪の言葉もありません。区議会では日本共産党目黒区議団が意見書案を提出するも自民・公明の議員は、反対をしました。国政では、自民党議員の癒着のもとで、解散命令請求も行われておらず、被害者救済法案は被害実態に即した規制ではありません。統一協会は宗教勧誘であることも秘匿し、正体隠しの伝道で教義を植えつけます。信者は自由な意思決定ができない状態にされ、統一協会は教義の実践として献金などをさせます。こうした闇を許さず、目黒区から正しましょう。

日本共産党だからこそ 100年 本気で政治を変えられます

旧ソ連・中国の覇権主義を許さない自主・独立の党

国民多数の合意で平和的・合法的に社会を変える党

企業・団体献金を受け取らず、大企業の横暴を正す党

補聴器助成・教育環境の充実を

小学生の時、中耳炎を何度も繰り返して、右耳の鼓膜に穴が空きました。聴力は左耳の6割程度。プールの授業はほぼ見学で、楽しそうな友だちをづらい思いで見えていました。手術をしましたが、結果は失敗、再手術は断念しました。そのまま約30年が経ちました。これまで電話は必ず左耳で受けてきました。議員になり、加齢による難聴の補聴器購入助成を調査する中で、専門医とめぐり会い、昨年、再度手術を受けました。現在、聴力は回復途上です。

この体験から、聞こえの問題を真剣に取り組んできました。高齢者の補聴器購入助成制度を創設させます。

また、2人の娘の父として、保育園・学童保育の充実、学校給食無償化、少人数学級推進など、子どもの豊かな成長をはぐくむ目黒区をつくりたい。7・8・9・11中学校の統廃合はやめさせましょう。

2期目に挑戦、目黒を本気で変えて行きます。

2人の娘の父として

めぐる子どもたちに!!



食育を取り入れた給食無償化

安易な七・九、八・十一中学校の統廃合には反対!!

統廃合には反対!!